

知床の窓から見えるもの

2022年1月4日（火曜日）

社会医療法人孝仁会 知床らうす国民健康保険診療所は、公設民営で令和3年7月に10年目を迎えました。患者様が安心してかかれる、思いやりと笑顔あふれる診療所を今後も目指していく所存です。本年も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い致します。

今回の記事を担当させていただくのは、同じ系列の医療機関から転勤で参りました事務員です。

羅臼に住んでまもなく丸4年となります。直近の2年間は新型コロナウイルスの影響により、マスクや消毒を欠かさない日々となっており、不自由な生活をしておりますが、そうした中でも羅臼岳に登山したり、羅臼湖へハイキングしたり、観光船に乗ったりと羅臼町内で楽しみを見つけながら生活しております。新型コロナウイルスワクチン接種も進み、アーティストのコンサートが徐々に開催されたり、スポーツでも有観客の試合が増えたり、2年間中止になっていた北海道マラソンが開催されることが決まったり、今年はこれまでより日常を取り戻すと信じております。

羅臼の医療体制は紆余曲折を経て、今に至っております。平成24年7月に公設民営による指定管理者制度で運営される前は、一般病床の休止や24時間救急の受入休止など地域住民の方たちにとって、ご不便をおかけした時期がありました。令和4年7月に11年目を迎えますが、一般病床の受入や24時間救急体制を維持できているのは当診療所の職員の努力だけではなく、羅臼町役場や地域住民の方たちのご理解やご支援があってこそ運営できていると感じております。今年の4月に指定管理者契約の2回目の更新を迎えます。今後も救急、入院、健診、訪問診療、通所リハビリ体制を維持すべく努力して参ります。

羅臼町に興味がある医療関係者の方はぜひ一度来てみてはいかがでしょうか。オール電化の職員住宅も完備されており、とても快適な生活を送ることができます！仕事にプライベートに充実した日々を送ることができます
^^

